

だ い ず 通 信

令和5年 第5号

収穫作業は、大豆の成熟具合と天気を見極め適期に行いましょう。
 収穫前に雑草や青立ち株を抜取り、汚損粒の発生を防ぎましょう。

1 生育状況

- ・6月以降の平均気温が平年より高く、降水量は平年より少なかった。日照時間は平年より多かった。
- ・県生育観測ほの9月11日時点の生育は、草丈・主茎長ともに平年を上回り、着莢数は平年並だった。
- ・生育の旺盛なほ場で倒伏がみられるほか、立枯病が発生しているほ場が散見される。
- ・10月2日の巡回時点で成熟期に達しているほ場はみられないが、10月中旬頃から収穫適期となる見込み。
- ・収穫適期はほ場により異なるため、大豆の状態をよく観察するとともに、速やかに収穫ができるよう早めに作業機の清掃やフレコンバッグの準備等を行う。

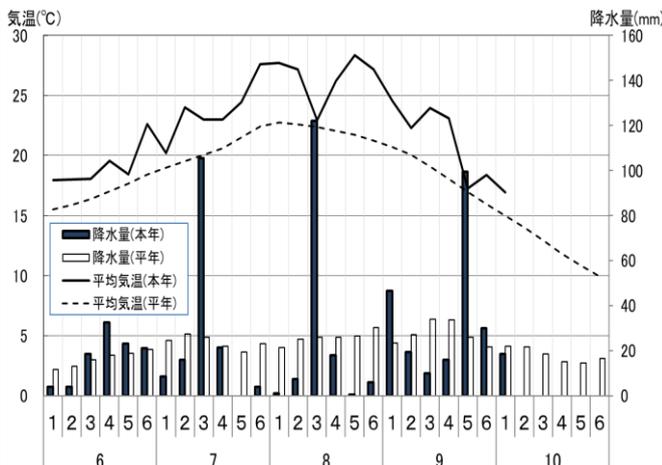


図-1 平均気温と降水量

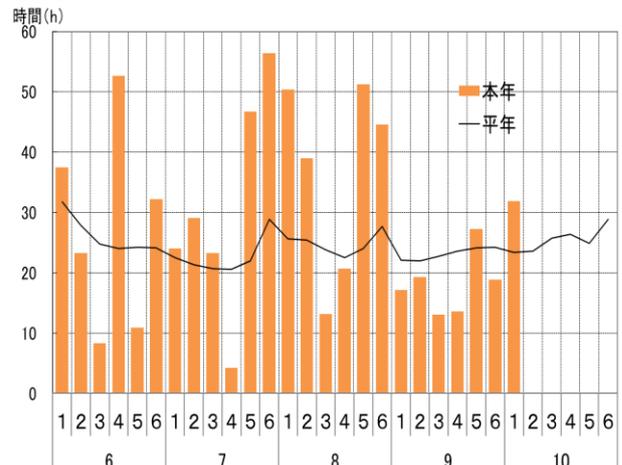


図-2 日照時間

表-1 生育状況調査結果

地点名	年度	生育ステージ				出芽 本数 (本/m ²)	9月10日			
		は種期	出芽期	開花期	成熟期		草丈 (cm)	主茎長 (cm)	葉数 (枚)	稔実莢数 (莢/本)
県生観 十和田市 下切田	本年	6月5日	6月12日	7月27日		13.9	128.7	88.7	14.1	40.6
	平年	6月7日	6月15日	8月4日	10月17日	13.8	98.9	62.5	-	39.6
	差・比	早2日	早3日	早8日		96	130	142	-	102
地区生観 十和田市 赤沼	本年	5月25日	6月2日	7月24日		16.1	105.8	65.3	14.2	40.6
	平年	6月1日	6月10日	7月30日	10月12日	17.4	99.9	51.1	-	31.1
	差・比	早6日	早8日	早6日		88	106	128	-	131
晩播狭畦 七戸町	本年	6月30日	7月8日	8月7日		27.3	102.3	64.1	11.6	29.4
	平年	6月25日	7月2日	8月10日	10月19日	27.6	89.8	54.0	-	21.7
	差・比	遅5日	遅5日	早3日		99	114	119	-	136

2 収穫作業のポイント

- コンバイン収穫は、子実水分 20%以下、莖水分 50%以下になった時期を目安に行う。
- 作業時間は露がない午前 10 時～午後 4 時が望ましい。

◎適期収穫で発生を防止できる障害粒

(1) しわ粒

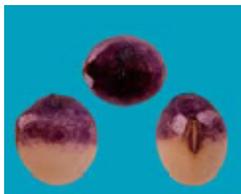


被害粒 (普通大豆)

【原因】子実肥大が不十分または収穫期の吸湿と乾燥の繰り返しにより発生する。

【対策】成熟具合を見極めて適期に収穫を行い、収穫後も急激に乾燥させない。

(2) 紫斑粒



【原因】開花 20～40 日頃の薬剤散布で防除できるが、刈り遅れや成熟期の降雨により発生が増加する。

【対策】成熟具合を見極めて適期に収穫する。

(3) 汚損粒



【原因】収穫した子実には、大豆や雑草の茎汁や土が付着して発生する。

- 【対策】
- ① 青立ち株や雑草は、収穫前に抜き取って除去する。
 - ② 降雨後や、朝露や夜露のある早朝や夕方は収穫しない。
 - ③ 土のかみ込みを避けるため、収穫作業は丁寧に行う。
 - ④ 倒伏しているほ場の大豆は他の収穫物と混ぜない。

3 汚損粒発生の原因や収穫の妨げになりやすい雑草



(左)イヌホオズキ (右) イヌホオズキの子実



アレチウリ



タデ類



ツユクサ



アメリカセンダングサ